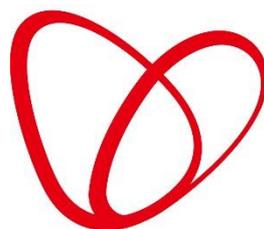




健康食品・化粧品の受託（OEM）総合メーカー



株式  
会社 **AFC-HD**  
アムスライフサイエンス



第39期（2019年8月期）株主総会資料  
（2018年9月1日～2019年8月31日）

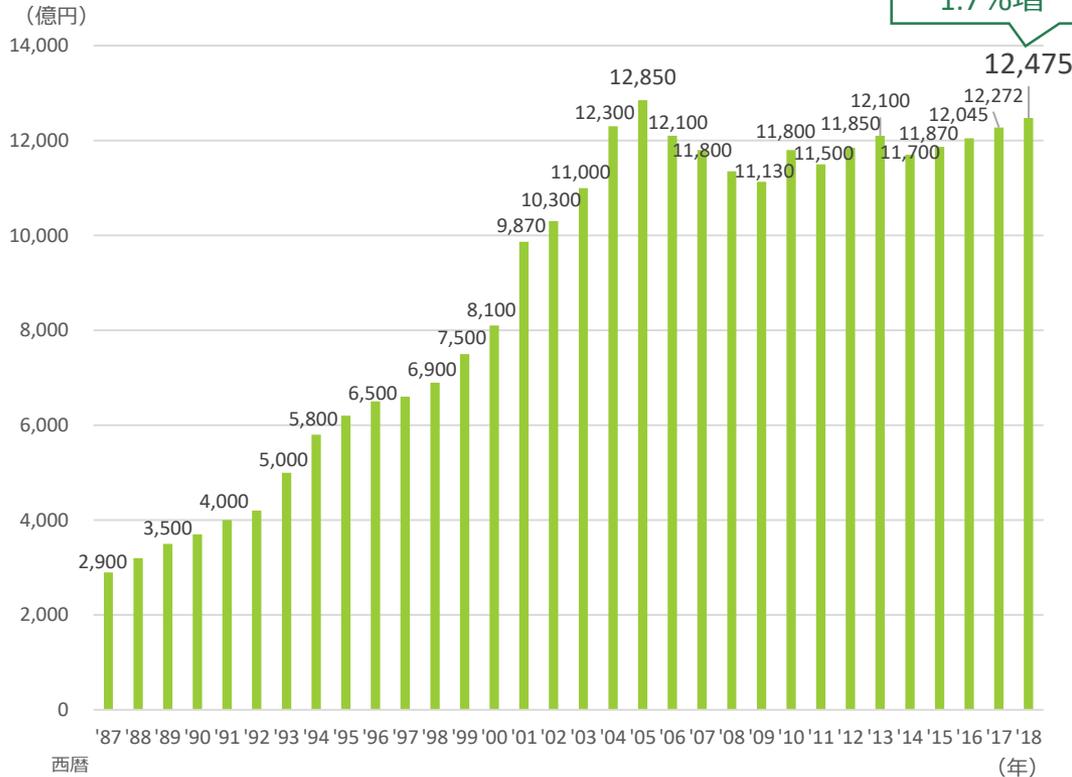


# 健康食品業界の動向

## 健康食品市場の推移

【2018.12.21健康産業速報掲載】

(特保除く、機能性表示食品含む)



前年度比  
1.7%増

## 機能性表示食品の市場規模

【2019.2.15発刊：2019年版 健康食品の市場実態と展望／矢野経済研究所】



※制度開始：2015年4月  
※上市開始：同年6月

2018年の健康食品市場は、ドラッグストアなどにおいてインバウンド需要が好調に推移し、前年比1.7%増の1兆2,475億円になり、4年連続で拡大した。

機能性表示食品の市場規模は、2017年度が1,788億円となり、2018年度は1,895億円にまで拡大すると見込まれる。市場の拡大が続くものの、2018年度は成長がやや緩やかになると予想される。

# 健康食品 受託製造市場の動向

## 健康食品受託製造企業のOEM売上高推移

【出所：2015・2017・2019年版 健康食品の受託製造市場／矢野経済研究所】を基に当社で作成

(矢野経済研究所推定) (売上高：百万円)

		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度 (見込)	
		売上高	シェア	売上高	シェア	売上高	シェア	売上高	シェア
1	A社	21,268	14.6%	22,539	15.2%	22,971	15.3%	26,869	16.8%
2	B社	15,730	10.8%	16,800	11.3%	17,200	11.5%	18,080	11.3%
3	C社	10,700	7.3%	12,240	8.3%	12,920	8.6%	15,200	9.5%
4	D社	9,660	6.6%	9,700	6.5%	10,140	6.8%	10,600	6.6%
5	E社	9,340	6.4%	10,230	6.9%	9,900	6.6%	9,900	6.2%
6	当社	7,720	5.3%	7,687	5.2%	8,509	5.7%	9,389	5.9%
7	F社	6,440	4.4%	7,200	4.9%	7,940	5.3%	7,120	4.4%
8	G社	4,150	2.8%	4,200	2.8%	4,600	3.1%	5,100	3.2%
9	H社	3,100	2.1%	3,400	2.3%	3,670	2.5%	5,058	3.2%
10	I社	4,600	3.2%	4,300	2.9%	4,680	3.1%	4,900	3.1%
	その他	53,292	36.5%	49,904	33.7%	47,170	31.5%	47,884	29.8%
	合計	146,000	100.0%	148,200	100.0%	149,700	100.0%	160,100	100.0%

※2019年度健康食品の受託製造市場規模予測は161,700百万円。同年度の当社OEM部門の売上高は9,591百万円。推定シェア5.9%予測

矢野経済研究所 推定の「健康食品受託製造企業のOEM売上高推移表」によれば、健康食品受託製造市場の6割以上のシェアを業界トップ10の企業が占める状況となっており、当社のOEM部門は市場の5%台のシェアを確保し、業界6位の地位を維持しております。

# AFC-HD アムスライフサイエンスグループ

---

## 決算報告



## 連結 業績比較表 (直近3期間)

(単位：百万円)

連結	2017年8月期 実績	2018年8月期 実績	2019年8月期 実績	対前期 増減率
売上高	15,141	15,795	<b>16,252</b>	2.9%
営業利益	1,069	1,023	<b>981</b>	△4.1%
経常利益	1,040	982	<b>1,014</b>	3.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	465	736	<b>783</b>	6.3%
経常利益率	6.9%	6.2%	<b>6.2%</b>	—

増収要因：インドネシアのAFC代理店ならびにベトナムのOEM顧客において、美容商材の受注が好調に推移したほか、中国OEM顧客において、アンチエイジング商材の受注が加わり、海外部門の売上高が前期比45.0%増となったことが寄与した。

増減益要因：当社において会計上の見積りを変更し、売上原価77百万円、販売費及び一般管理費29百万円、退職給付費用を積み増した影響により、営業利益は減益となった。

経常利益は、投資有価証券の運用益の計上に加え、支払利息が軽減され、増益を確保した。  
親会社株主に帰属する当期純利益は、連結子会社において固定資産売却益を計上した影響も加わった。

# 連結 売上高の状況

## 連結 事業部門別 売上高の状況（直近2期間）（単位：百万円）

	事業部門	2018年8月期 実績	2019年8月期 実績	対前期 増減額	対前期 増減率	増減要因
ヘルスケア事業・医薬品事業	OEM部門	9,389	<b>9,591</b>	202	2.2%	青汁定番化、期の前半は乳酸菌関連商材が好調だった
	海外部門	825	<b>1,197</b>	371	45.0%	インドネシア、ベトナム向けの美容商材が伸長した
	店舗販売部門	1,965	<b>1,887</b>	△78	△4.0%	既存店の売上は増収となったものの、店舗数の減少を補いきれなかった
	通信販売部門 AFC：サプリ・化粧品・ 漢方薬	1,649	<b>1,401</b>	△247	△15.0%	主力の葉酸などが競争激化により苦戦した
	卸販売部門 AFC：サプリ・化粧品 本草：医科・OTC・ サプリ・化粧品	1,864	<b>2,067</b>	203	10.9%	ピムロ顆粒を始めとするジェネリック医薬品の拡販により、医薬品事業の売上高が増加した
	その他	101	<b>107</b>	6	6.3%	—
合計	—	15,795	<b>16,252</b>	457	2.9%	海外部門が伸長した

# 連結 資産の状況

※借入・社債・割賦未払金

(単位：百万円)

連結	2018年8月期	2019年8月期	対前期増減額
資産合計	18,007	<b>18,327</b>	319
内訳 流動資産	9,121	<b>9,629</b>	507
固定資産	8,885	<b>8,697</b>	△188
負債合計	8,354	<b>8,217</b>	△137
内訳 流動負債	6,240	<b>6,896</b>	655
(上記のうち有利子負債※)	(3,036)	<b>(3,692)</b>	(655)
固定負債	2,113	<b>1,321</b>	△792
(上記のうち有利子負債※)	(1,616)	<b>(686)</b>	(△929)
純資産	9,652	<b>10,109</b>	456

資産：連結子会社の物流センター売却などにより有形固定資産が208百万円減少した反面、現金及び預金が357百万円、期末日が休日だった影響により受取手形及び売掛金が105百万円増加した。

負債：返済により有利子負債が274百万円減少した。

純資産：親会社株主に帰属する当期純利益の計上により、利益剰余金が502百万円増加した。

# AFC-HDアムスライフサイエンスグループ

---

## 事業報告と今後の取り組み





# OEM部門 報告と取り組み

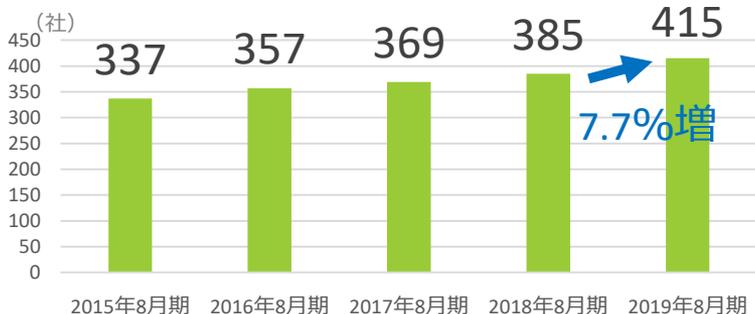
AFC-HDアムスライフサイエンス

## 2019年8月期 売上高前期比：2.2%増

### ■ 増収要因

- ドラッグストア向けの定番商材の好調
- 機能性表示食品の受注が伸長

### 【取引社数】



### ■ 機能性表示食品

【当社が取り扱う届出受理の累計件数】

前期比 24社42品目→43社82品目 増加

## 2020年8月期

- 機能性表示食品の申請サポートの強化

原料メーカー・販社・日本予防医学研究所と連携を取りながら推進していく



受理件数の増加による売上増

- 新人・中堅の営業担当のレベルアップによる営業力強化を図る



売上増につなげる



# OEM部門 報告と取り組み

AFC-HDアムスライフサイエンス

製造

2019年8月期

- 2018年9月 大型流動層造粒機を1台増設

・粉末製品の受注増加に対応

増産と機械トラブル等のリスク分散を図る



流動層造粒機

- 2019年6月 高性能ハードカプセル充填機を1台増設

・ハードカプセル製品の受注増加に対応

導入することで、増産による納期短縮を図る



ハードカプセル充填機

製造

2020年8月期

- 2019年9月 高性能ハードカプセル充填機をさらに1台増設

・短納期は営業の強みになる

更なる納期短縮を図る



ハードカプセル充填機

- 前期に続き、人員不足への対応として、充填・包装設備の増設や自動化等を検討する

増産による売上増加を図る



# 海外部門 報告と取り組み

AFC-HDアムスライフサイエンス

**2019年8月期** 売上高前期比：45.0%増

■増収要因

- インドネシアAFC代理店 およびベトナム  
OEM顧客の受注好調

美容商材の伸長



インドネシアで人気のプラセンタ商材  
「SOP100+」

- 中国人営業担当の活用

中国OEM顧客において、アンチエイジング商材  
の新規受注

2019年8月期は、国吉田工場の見学者数  
が多い企業ほど、成果を上げた。



市場は、**メイドインジャパン**を求めており、実際に“工場を見学する”ことで、改めてその価値を見だし、高めることが、  
売上拡大につながっている。

## インドネシアAFC代理店の例

- 1月25日 国吉田工場見学（80名）  
当社社長と面談
- 8月27日 現地セミナーイベント参加（650名）  
原料メーカー社長同行
- 10月10日 現地大規模イベント参加（1,100名）  
当社グループ研究開発担当者同行



# 海外部門 報告と取り組み

## AFC-HD アムスライフサイエンス



1月25日  
国吉田工場見学（80名）  
当社社長と面談



8月27日  
現地セミナーイベント参加  
原料メーカー社長同行（650名）



10月10日 現地大規模イベント参加（1,100名）当社グループ研究開発担当者同行

## 2019年8月期 売上高前期比：4.0%減

### ● 既存店ベースでは売上高が微増

- ・ 催事、セミナー、相談会の積極展開

2018年8月期 230回 → 2019年8月期 260回

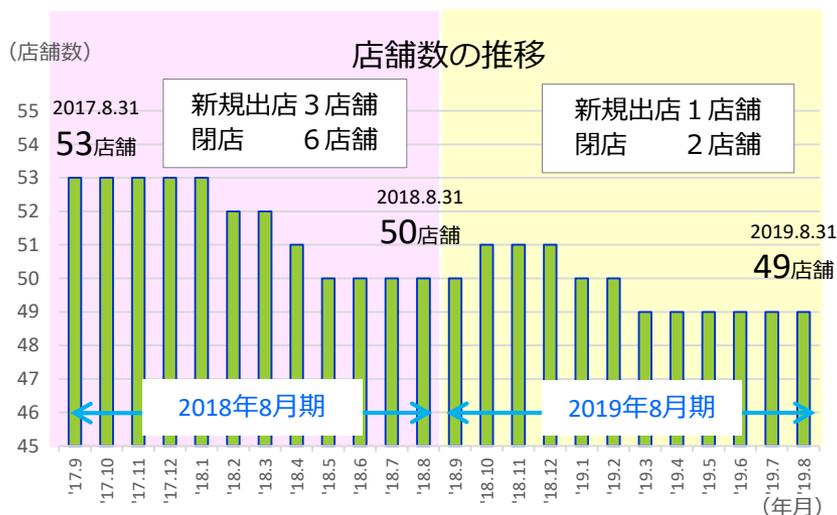
### ■ 減収要因

### ● 店舗数の減少

2019年8月期

新規出店：三越銀座店

閉店：丸井今井札幌店、大和高岡店



## 2020年8月期

### ■ 対策

- 百貨店がカード会員様等へ配信するSNS広告と連動させた販促企画等の実施

FacebookやLINE等



そごう広島店LINEのAFC広告

- 新商品の投入と拡販

7月「RICH ユーグレナ380」を新発売

販売員の商品知識とお客様に対する訴求力を向上させ、カウンセリング販売等を強化する



2019年7月新発売  
RICH ユーグレナ380

### 2019年8月期 売上高前期比：15.0%減

- 機能性表示食品の新商品投入  
および、ラインアップ拡充に  
向けた商品開発



2019年5月発売  
機能性表示食品「イヌリン」



- 創業50周年記念キャンペーンの実施

- ・ 新規顧客の獲得



- ・ 既存顧客からの受注増加を図る



■ 減収要因

- 通販市場の競争激化による受注の減少

### 2020年8月期



■ 対策

- 機能性表示食品の新商品投入と開発

◎ ラインアップ

既存 3 品目



10 品目を目標



11月発売予定  
「ルテオリンGOLD」



12月発売予定  
「ギャバGOLD」



12月発売予定  
「DHA & EPAGOLD」

- 他社と差別化した商品の投入（中長期）

- ・ オリジナル原料の開発、商品化



① 研究所の開設 ② 開発人員の増員

【OEM顧客、AFC店販・通販・卸、他グループへの展開】

- 広告展開



- ・ 機能性表示食品および爽快柑  
シリーズに集中して広告を投  
下する



薬用アミノ酸シャンプー爽快柑



### 2019年8月期 売上高前期比：22.1%増

#### ■ 増収要因

#### ● 新規顧客の獲得

- ・ 展示会・販売会等へ積極的に出展
- ・ 美容商材の受注が増加



2019年1月 健康博覧会のAFCブース

#### ● 海外販売を行う国内事業者からの受注増



納豆キナーゼ

2015年2月リニューアル発売

- ・ 高品質で信頼性が高い日本製の需要増



### 2020年8月期

#### ● 新規ルートの開拓

- ・ 展示会・販売会等へ積極的に出展



2019年7月 ウエルネスフードジャパンのAFCブース

#### ● 機能性表示食品の新商品投入と開発

- ・ ラインアップの充実を図る



発売中：ルテイン・イチョウ葉エキス

届出受理、商品化中 2品目

届出申請済み（受理待ち） 3品目

届出準備 1品目



プレミアムルテイン25  
2018年1月発売

イチョウ葉エキス粒  
2017年10月発売

## 2019年8月期 売上高前期比：6.6%増

■増収要因

●医療用ジェネリック医薬品の好調

- ・ピムロ顆粒（下剤） 前期比 238%
- ・シルデナフィル錠（勃起改善薬）前期比 145%
- ・フィナステリド錠（AGA治療薬）前期比 138%

●一般用医薬品のドリンク剤の好調

- ・葛根湯シロップ
- ・かぜ内服液



葛根湯シロップ



かぜ内服液



## 2020年8月期

- 引き続き、重点3商品の拡売  
来年以降、新たに勃起改善薬を追加予定

【重点3商品】

ピムロ顆粒・シルデナフィル錠、フィナステリド錠



「ピムロ顆粒」  
2017年11月発売



「シルデナフィル錠」  
2014年9月発売



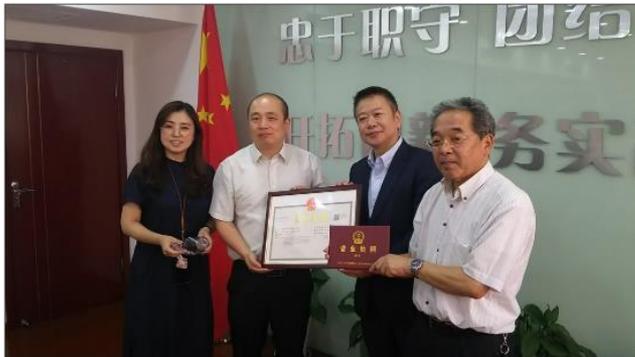
「フィナステリド錠」  
2016年12月発売

- 解熱鎮痛剤（一般用医薬品）を新たに  
上市予定

2019年5月14日 杭州永遠愛生物科技有限公司 設立  
 資本金 1億円 食品、化粧品、日用品の貿易、技術開発、制作、企画広告等



於：浙江省 商務庁國際投資促進センター 国家市場監督管理总局監制  
 營業許可証 交付



杭州永遠愛オフィス所在ビル  
 浙江省杭州經濟技術開發區  
 下沙街道元成路199号2号楼

越境 E C 販売  
AFCブランディング



海外 O E M 受注



海外人財 確保



現地製造工場 建設



2019 ~ 2021 創生期  
AFC-HD知名度 向上  
販売可能品目の確保  
人財確保・現地製造の開始

2022 ~ 2025 成長期  
中国・保険食品の認可取得  
AFCブランドの現地展開  
(販売品目の増加)  
中国内需対応の工場拡大

2026 ~ 成熟期  
中国内での販売・物流網の確立  
生産拠点の複数化

# AFC-HD アムスライフサイエンスグループ

---

## 業績予想

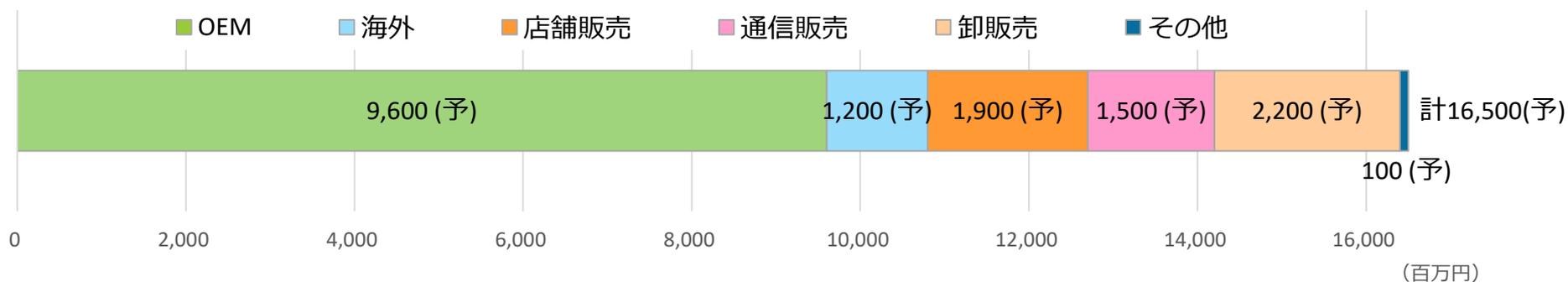


# 2020年8月期 連結予想

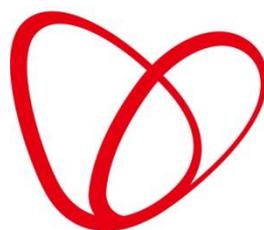
(単位：百万円)

連結	2018年8月期	2019年8月期	2020年8月期 通期予想	対前期 増減率
売上高	15,795	16,252	16,500	1.5%
営業利益	1,023	981	1,050	7.0%
経常利益	982	1,014	1,050	3.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	736	783	700	△10.6%

## ● 2020年8月期 部門別 売上高予想 (ヘルスケア事業・医薬品事業)



最後まで御覧いただきまして誠にありがとうございました



株式会社 **AFC-HD**  
アムスライフサイエンス



本資料に関するお問い合わせ

社長室

TEL : 054-281-5238

FAX : 054-281-5139

E-mail : [ir-ams@ams-life.com](mailto:ir-ams@ams-life.com)

URL : <https://www.ams-life.co.jp/>

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、潜在的なリスク・不確実性が含まれています。  
そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述している将来の見通しと異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。